

社会的コミュニケーションの障害

- 言葉（音声）で伝えられた内容を理解することが苦手
- 表情等の言葉以外の手がかりを読み取ることが苦手
- 暗黙の了解を理解することや、その場の文脈に合わせた行動をとることが苦手
- 人に伝えるときに知っている言葉をうまく使えない
- 人に何かを伝えようという気持ちになりにくい
- 状況や文脈をうまく読み取れず、一方的な関わり方になりやすい

- 目で見てわかることの理解は得意
- はっきりと伝えられれば理解がしやすい
- その場面で求められていることや状況が明確になっていれば守ることができる
- 言葉（音声）以外の方法であれば伝えることができる
- しっかりと応えてくれる安心できる相手であれば興味を向けやすい
- 関わり方のルールが明確になっていればしっかりと守ることができる

限定された反復的な行動様式

- 興味・関心の幅が狭い
- 「いつも」と違うこと・変化を苦手とする
- 先の見通しをうまく持てない
- 物事の「始め」と「終わり」がわかりにくい
- 特定の行為や行動を繰り返し行う
(例：オウム返し、手をひらひらさせる)

- 好きな物については、強い関心を示す、エネルギーを使うことができる
- 慣れ親しんだこと・もの・やり方を好む
- 見通しが持てることには安心して自立的に取り組むことができる
- 「始め」と「終わり」がわかるようになっていればしっかりと守ることができる

その他の特性

- 能力の発達がアンバランスである
(例：難しい漢字は読めるがうまく会話はできない)
- 感覚が独特である
(例：感覚過敏・鈍麻、情報の取捨選択ができない)
- 部分に意識が向き、全体を見るのが苦手
全体から部分を抽出することが苦手
- 体の使い方が不自然だったり独特だったりする
- 多動性（落ち着きがなく動いてしまう）
衝動性（結果を考えずに突然反応してしまう）

- 得意なことに関してはとても高い能力を持っている
- 変化や違いに鋭く気づくことができる（過敏）、忍耐強い（鈍麻）
- 一つのことに、抜群の集中力を発揮する →（焦点を当てるべき場所を明確化したり、全体を組織化したりすることで、全体若しくは細部に point を向けることができる）
- ゆっくり時間をかければできる